
河内長野市少子化・子育て支援に関する ニーズ調査結果報告書 概要版

1 調査の目的

本調査は、こども計画を策定するにあたり、子育て支援に関するサービスの利用状況や今後の利用希望等を把握するため、子どもの保護者を対象として実施しました。

2 調査概要

- 調査対象者：市内在住の就学前児童のいる家庭及び市内在住の小学1年生～4年生の児童がいる家庭（無作為抽出）
- 調査期間：令和6年1月26日～2月21日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による本人記入方式

3 回収結果

アンケート種別	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者	2,250 件	1,114 件	49.5%
小学1年生～4年生保護者	1,000 件	536 件	53.6%

4 報告書の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 本文中にある「前回調査」とは、平成31年（2019年）1月に実施した「河内長野市子育て支援に関するアンケート調査結果報告書」を指します。

1 お子さんご家族の構成などについて

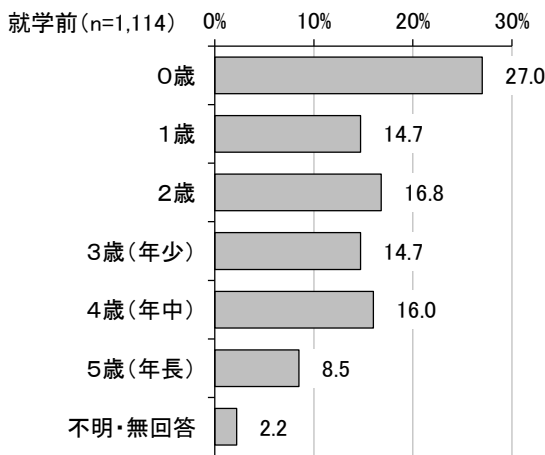
○お子さんの年齢、学年は以下のとおりです。

○お子さんの人数は、就学前児童のいる家庭も小学生のいる家庭も「2人」が最も高くなっています。

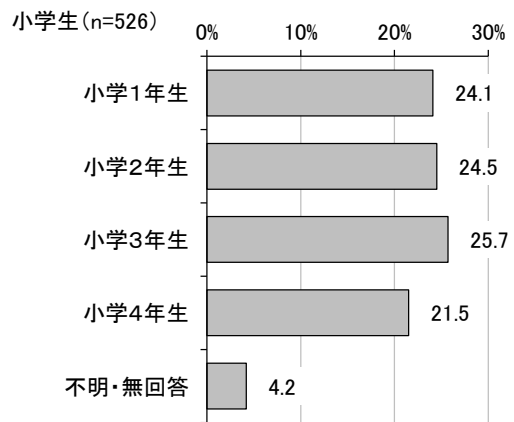
○就学前児童保護者に尋ねたもう一人以上子どもを持ちたいと思うかについては、「持ちたいとは思わない」が約6割で前回調査から大幅に高くなっています。

○子育てや子どもの教育について、気軽に相談できる人や相談の場所はあるかについては、就学前児童保護者も小学生保護者も「いない／ない」が約5%となっています。

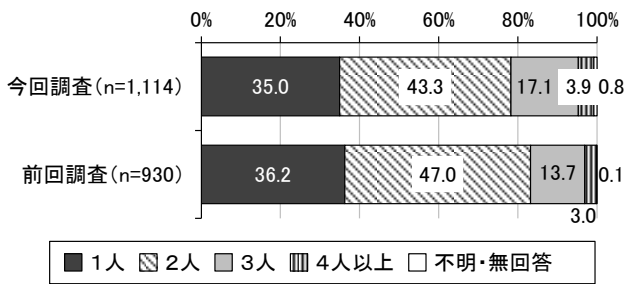
■お子さんの年齢〔就学前：問3〕



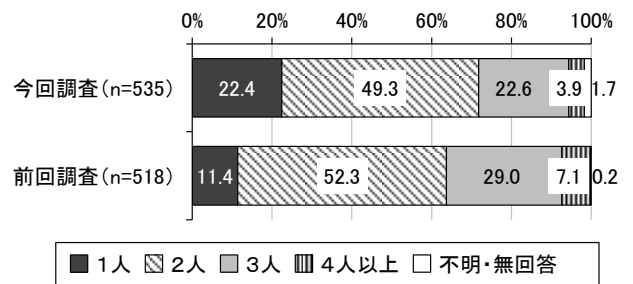
■お子さんの学年〔小学生：問3〕



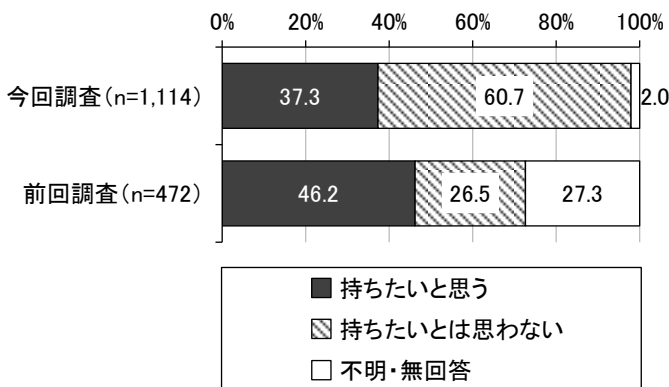
■お子さんの人数〔就学前：問4〕



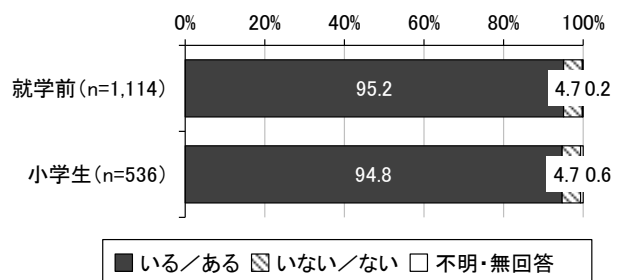
■お子さんの人数〔小学生：問4〕



■もう一人以上子どもを持ちたいと思うか〔就学前：問6〕



■子育てや子どもの教育について、気軽に相談できる人や相談の場所はあるか〔就学前：問10〕〔小学生：問8〕



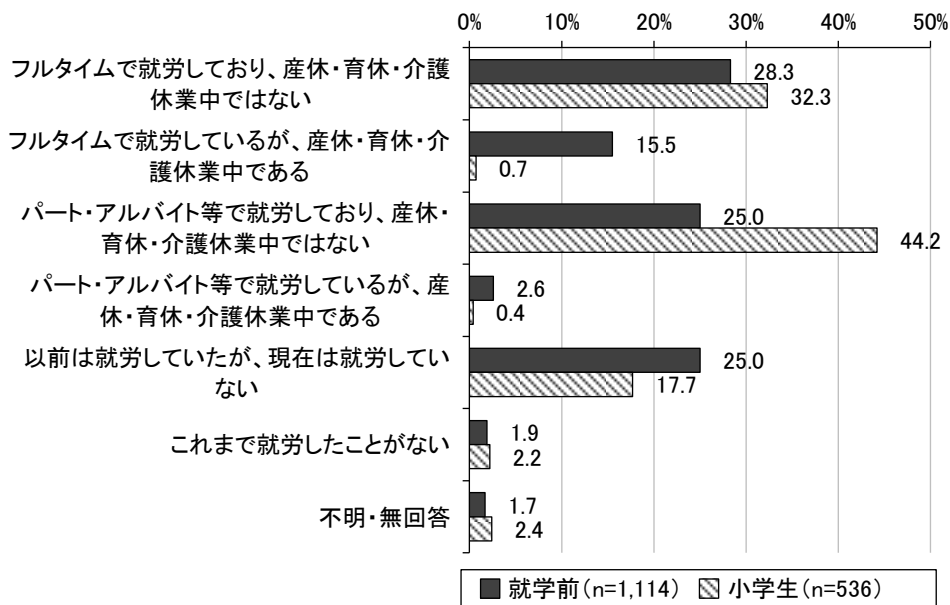
2 母親の就労状況について

○母親の就労状況について、就学前児童保護者では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が約3割で最も高くなっており、小学生保護者では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が4割台半ばで最も高くなっていきます。

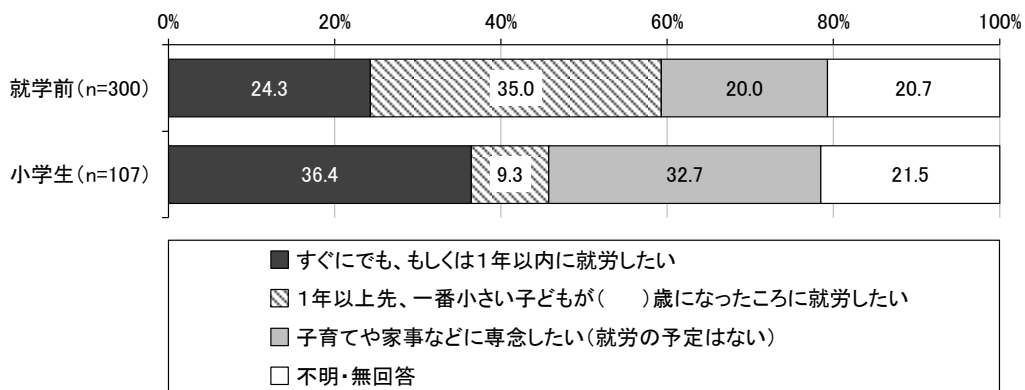
○現在就労していない母親の就労希望については、就学前児童保護者では「1年以上先」が3割台半ばで最も高く、小学生保護者では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3割台半ばで最も高くなっていきます。

○現在就労していない母親の希望する就労形態については、就学前児童保護者も小学生保護者も「パート、アルバイト等（フルタイム以外）」が6割台で最も高くなっていきます。

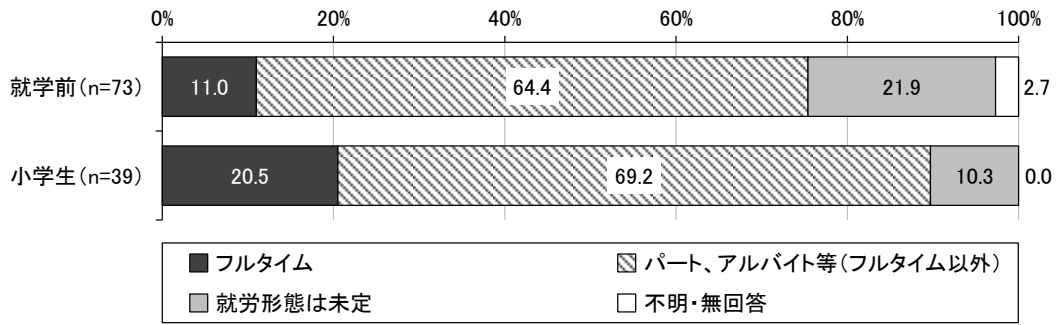
■母親の就労状況〔就学前：問11-1〕〔小学生：問9-1〕



■現在就労していない母親の就労希望〔就学前：問11-3〕〔小学生：問9-3〕



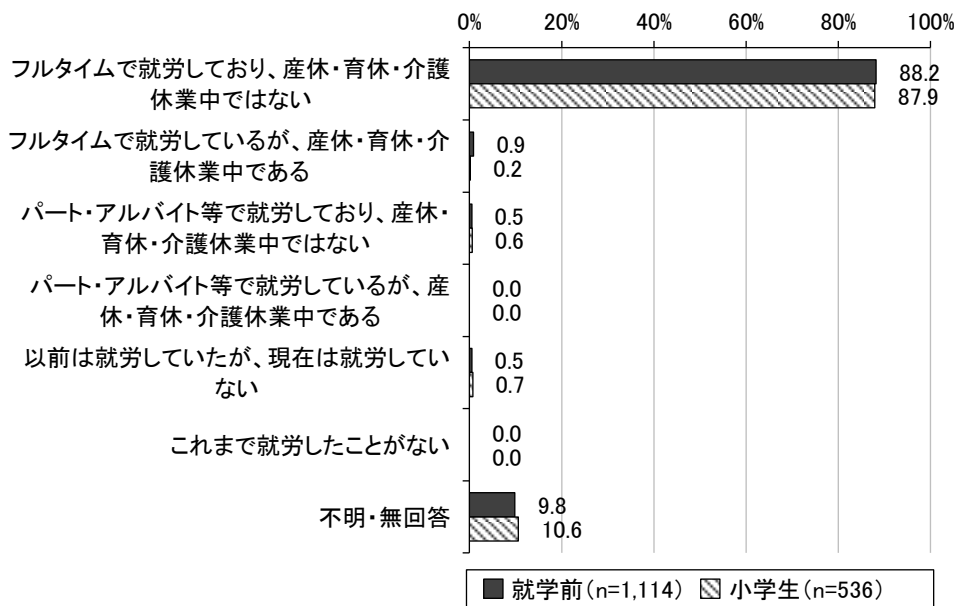
■現在就労していない母親の希望する就労形態〔就学前：問 11-3〕〔小学生：問 9-3〕



3 父親の就労状況について

○父親の就労状況について、就学前児童保護者も小学生保護者も「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が9割近くで最も高くなっています。

■父親の就労状況〔就学前：問 12-1〕〔小学生：問 10-1〕



4 幼稚園や保育所、認定こども園について

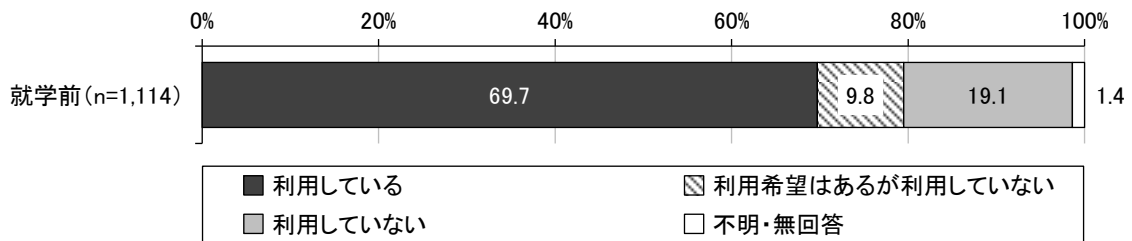
○幼稚園や保育所等を定期的に利用している人は、約7割となっています。「利用希望はあるが利用していない」が約1割となっています。

○主に利用している事業は、「認定こども園」が約6割で最も高く、次いで「認可保育所」が約2割となっています。

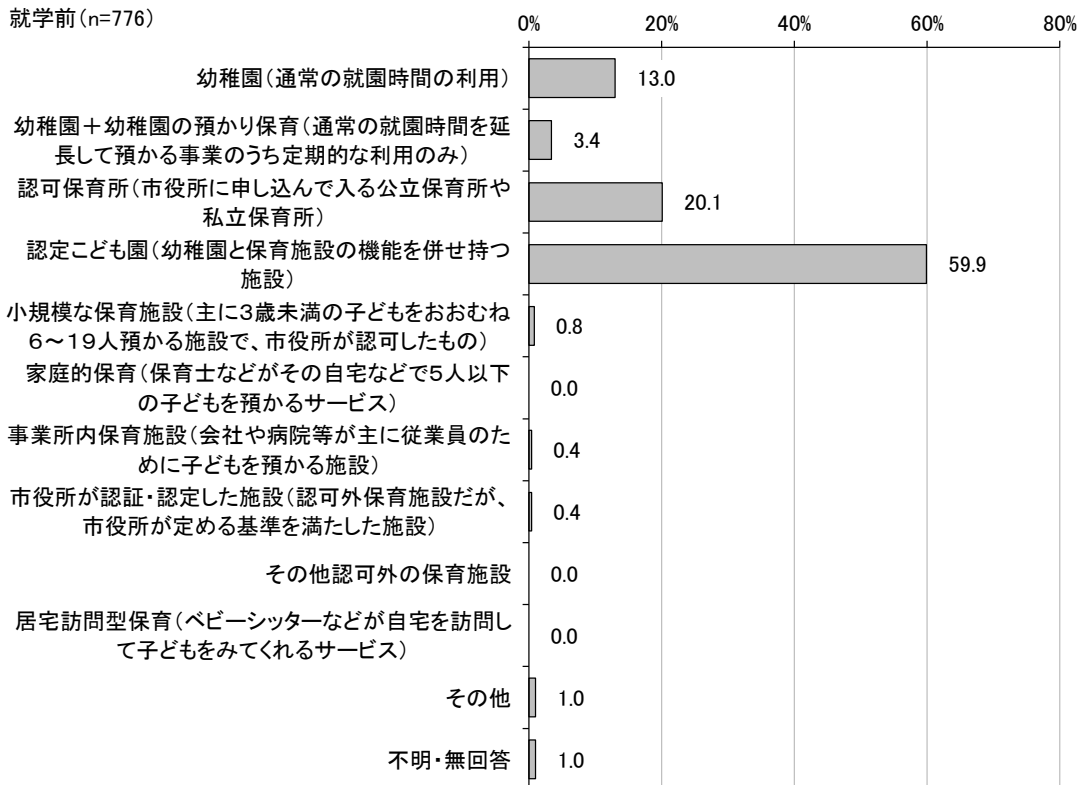
○平日日中の定期的な教育・保育事業を利用していないが利用を希望する事業としては、「認可保育所」と「認定こども園」がともに3割台となっています。

○現在利用している教育・保育サービスについて、利用している理由は「保護者が働いている」が5割台半ば、「子どもの教育や発達のため」が4割台半ばとなっています。

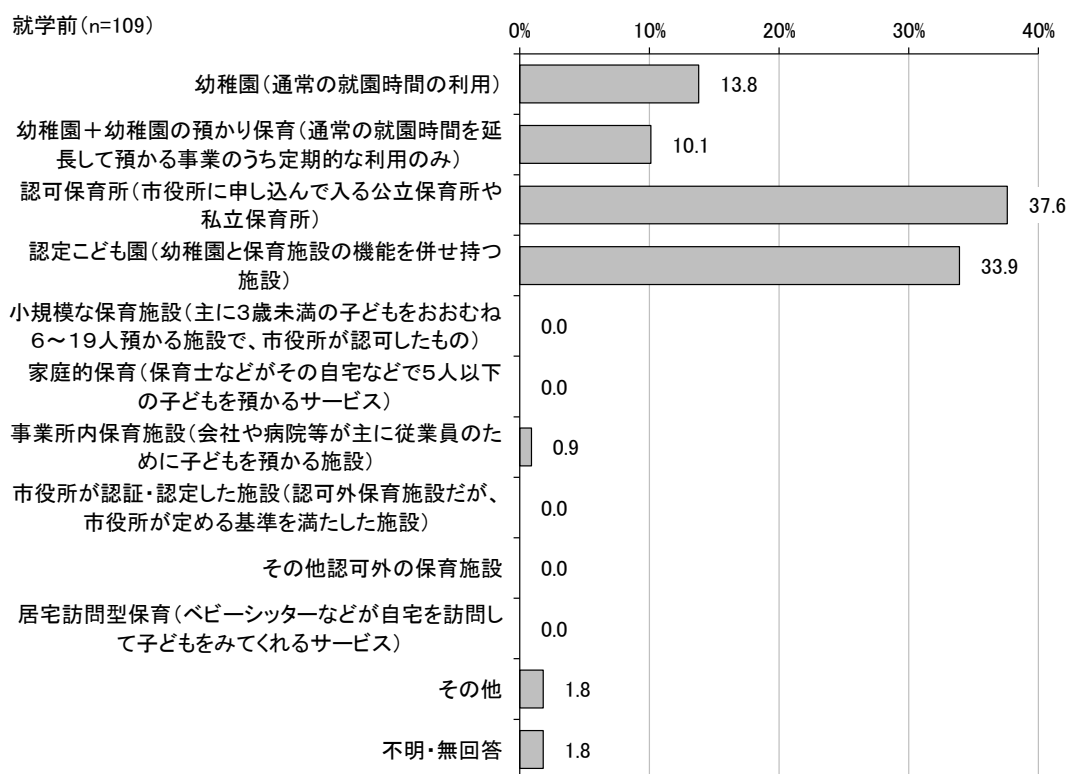
■平日日中の定期的な教育・保育事業の利用〔就学前：問13〕



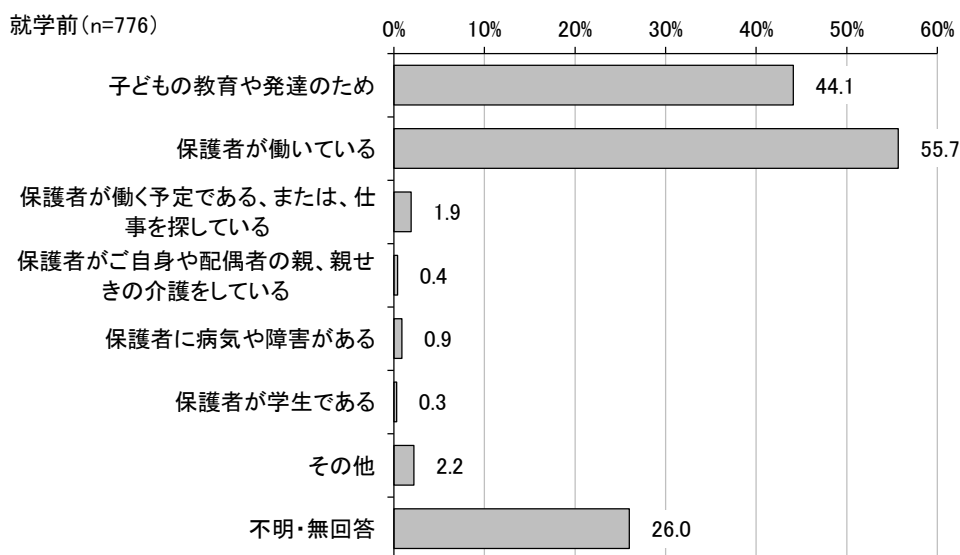
■主に利用している事業〔就学前：問13〕



■利用希望はあるが利用していない事業〔就学前：問13〕



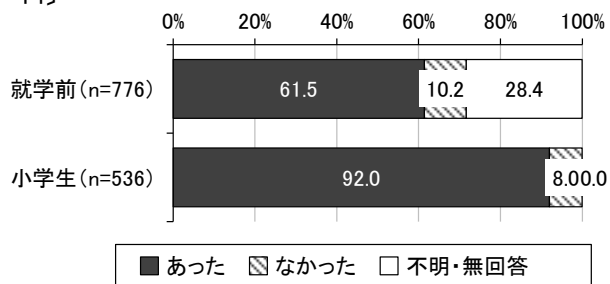
■現在利用している教育・保育サービスについて、利用している理由〔就学前：問13-2〕



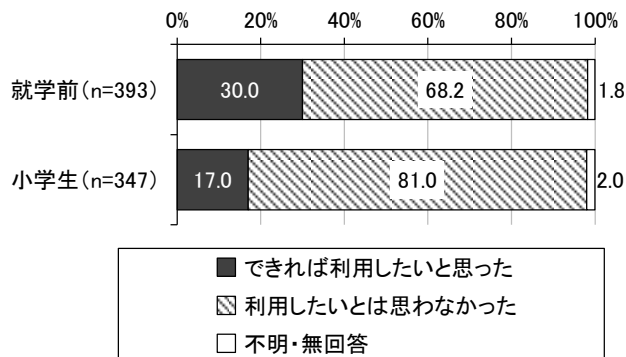
5 病気になった時の対応について

- この1年間に病気やケガで、教育・保育事業を利用できなかったことがあった人は、就学前児童保護者で約6割、小学生保護者で約9割となっています。
- 病気やケガの際の対処方法としては、就学前児童保護者も小学生保護者も「母親が仕事を休んだ」が最も高くなっています。次いで、就学前児童保護者では「父親が仕事を休んだ」が4割近くになっています。
- 「病気の子どものための保育施設など」を利用したいと思わなかった人は、就学前児童保護者では7割近く、小学生では約8割になっています。就学前児童保護者がこうした施設を利用したくない理由としては、「病気の子どもを家族以外の人に預けるのは不安がある」が5割台半ばで最も高くなっています。
- 私用やご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはあったかについて、小学生保護者では「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が5割台半ばで最も高くなっています。

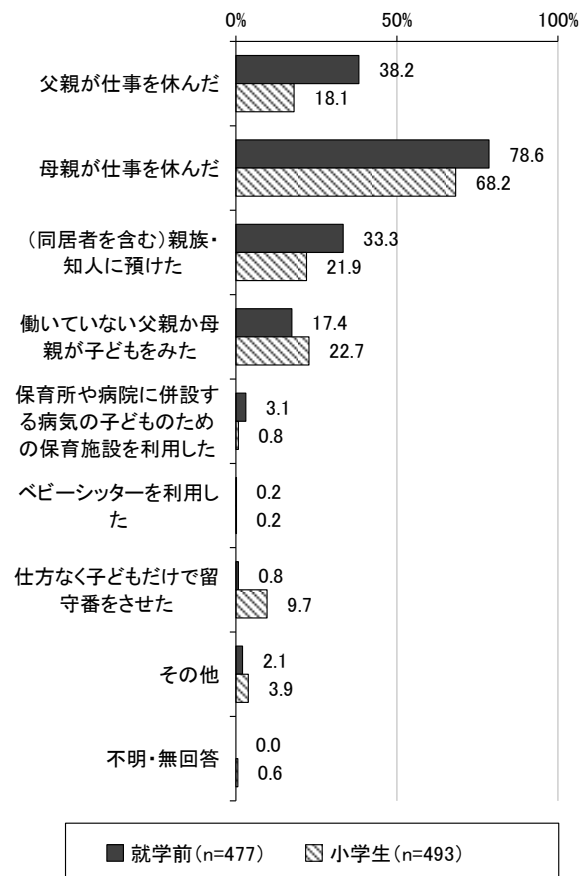
■この1年間に病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応をとる必要があったか〔就学前：問14、小学生：問14〕



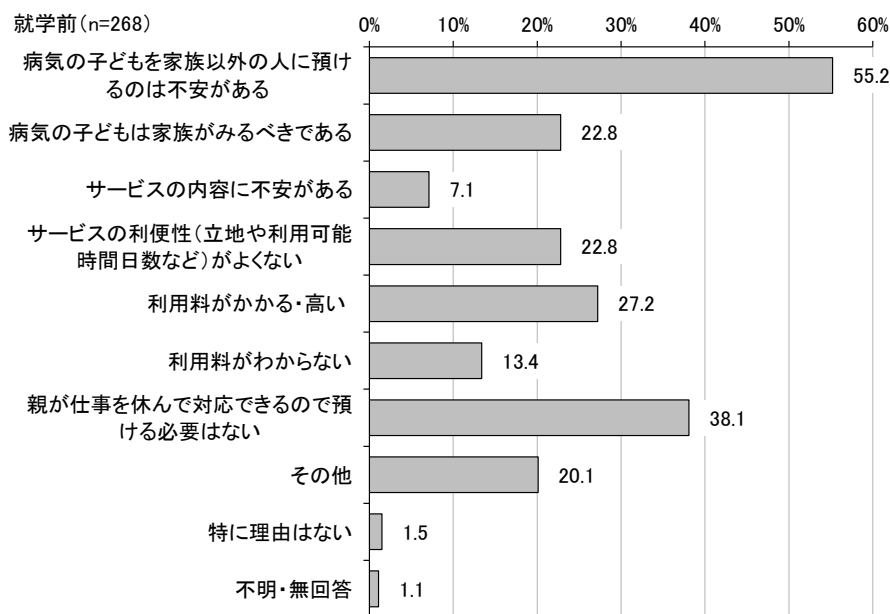
■できれば「病気の子どものための保育施設など」を利用したいと思ったか〔就学前：問15、小学生：問14-1〕



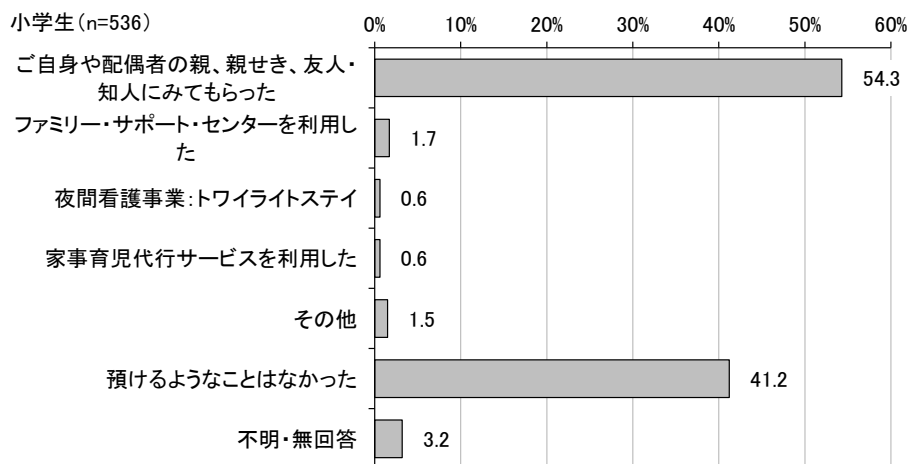
■病気やケガの際の対処方法〔就学前：問14、小学生：問14〕



■「病気の子どものための保育施設など」を利用したいと思わなかった理由〔就学前：問15〕



■私用やご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはあったか〔小学生：問15〕

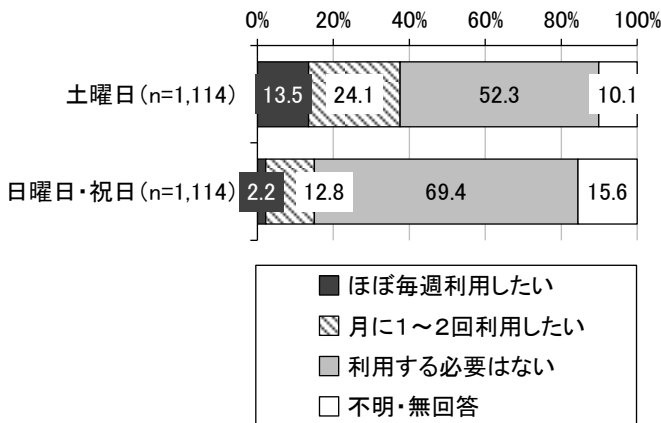


6 幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

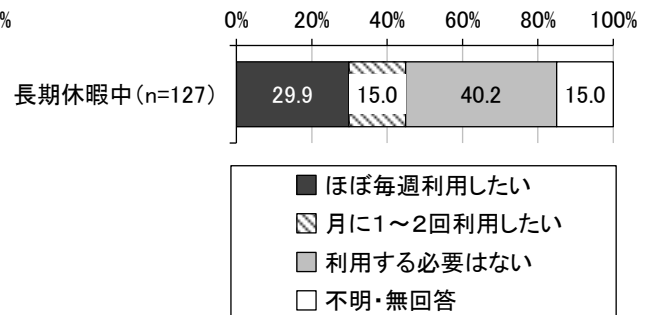
○幼稚園や保育所、認定こども園など（就労、介護などによる定期的な利用で一時的な利用は除く）の利用希望は、土曜日については「利用する必要はない」が約5割、日曜日・祝日については約7割とそれぞれ最も高くなっています。利用希望が比較的高い土曜日については開始時間の希望が最も高いのは8時台、終了時間は17時台となっています。

○幼稚園利用者に見た長期期間中の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が約3割となっています。

■幼稚園や保育所、認定こども園などの土曜日、日曜日・祝日の利用希望
〔就学前：問16〕



■幼稚園利用者の幼稚園や保育所、認定こども園などの長期休暇中の利用希望
〔就学前：問16〕



■土曜日に「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回利用したい」人の利用したい時間帯〔就学前：問16〕

開始時間		
n=419	件数	%
7時前	2	0.5
7時台	68	16.2
8時台	162	38.7
9時台	143	34.1
10時以降	15	3.6
不明・無回答	29	6.9

終了時間		
n=419	件数	%
13時前	4	1.0
13時台	9	2.1
14時台	18	4.3
15時台	43	10.3
16時台	59	14.1
17時台	130	31.0
18時台	108	25.8
19時台	17	4.1
20時以降	1	0.2
不明・無回答	30	7.2

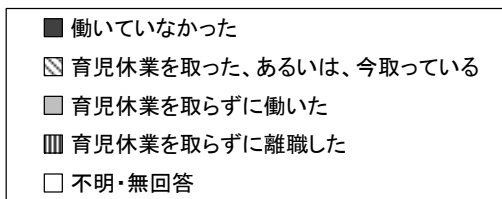
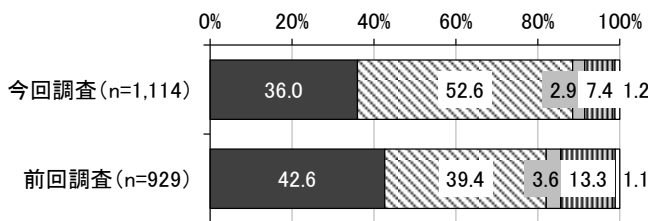
7 育児休業制度など、仕事と子育ての両立について

○育児休業の取得について就学前児童の母親では、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が5割強で最も高く、前回調査から 13.2 ポイント増えています。就学前児童の父親の育児休業取得は2割弱ですが、前回調査からは 13.4 ポイント増えています。

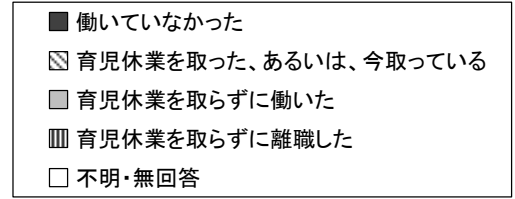
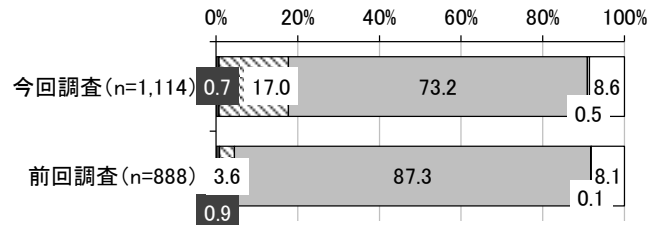
○育児休業を取得しなかった理由について、母親では「その他」を除いて「収入減となり、経済的に苦しくなる」「職場に育児休業の制度がなかった」がともに1割台半ばで最も高く、父親では「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が2割台半ばで最も高くなっています。

○育児休業を取ったあと、職場に復帰したかについては、「復帰した」は父親の約9割に対し、母親は約6割にとどまっています。

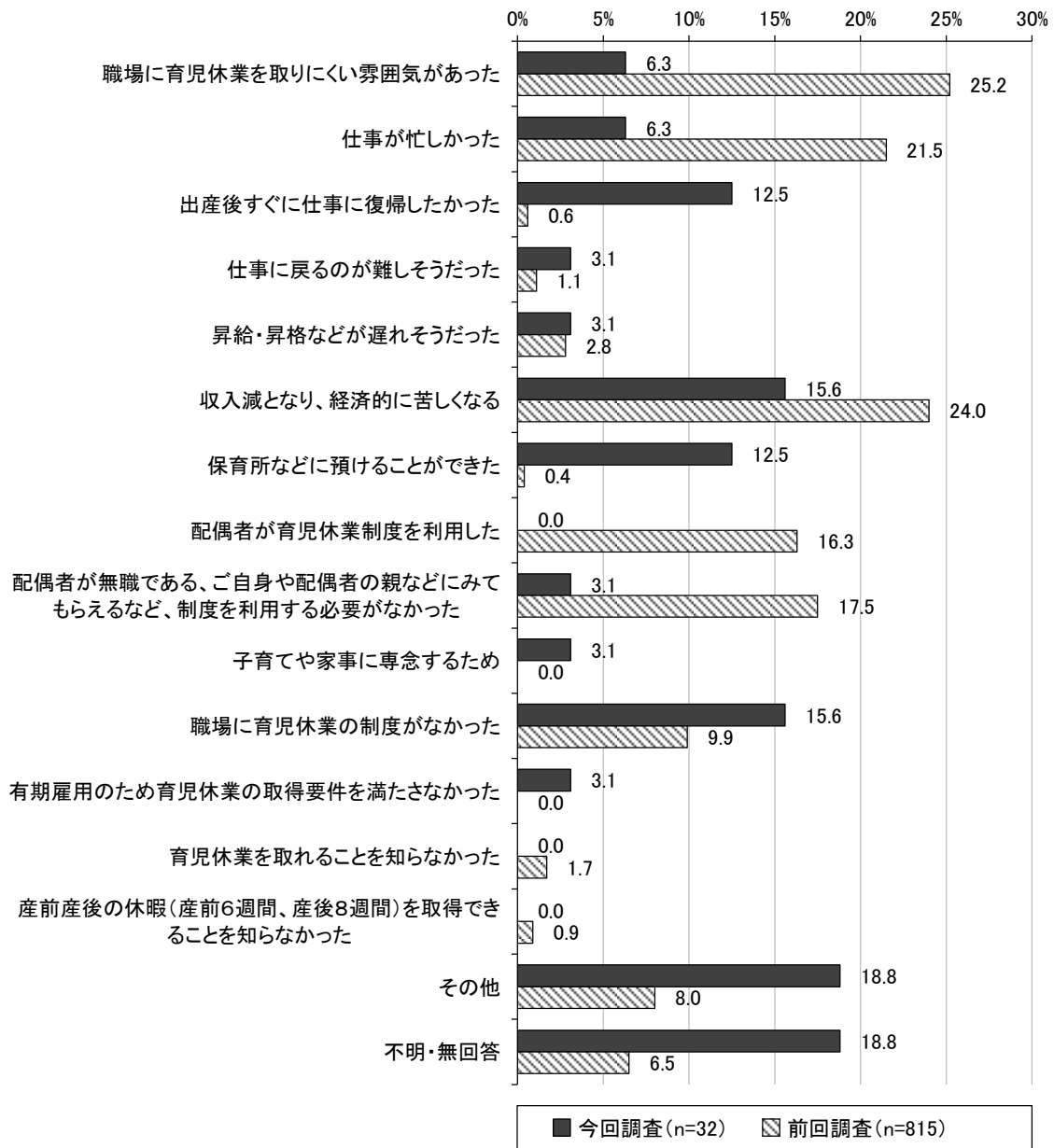
■育児休業の取得<母親>〔就学前：問17〕



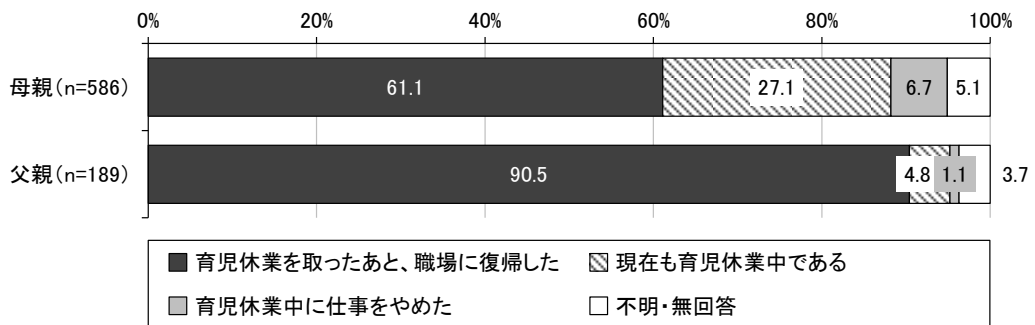
■育児休業の取得<父親>〔就学前：問17〕



■育児休業を取らずに働いた理由<母親><父親>〔就学前：問17〕



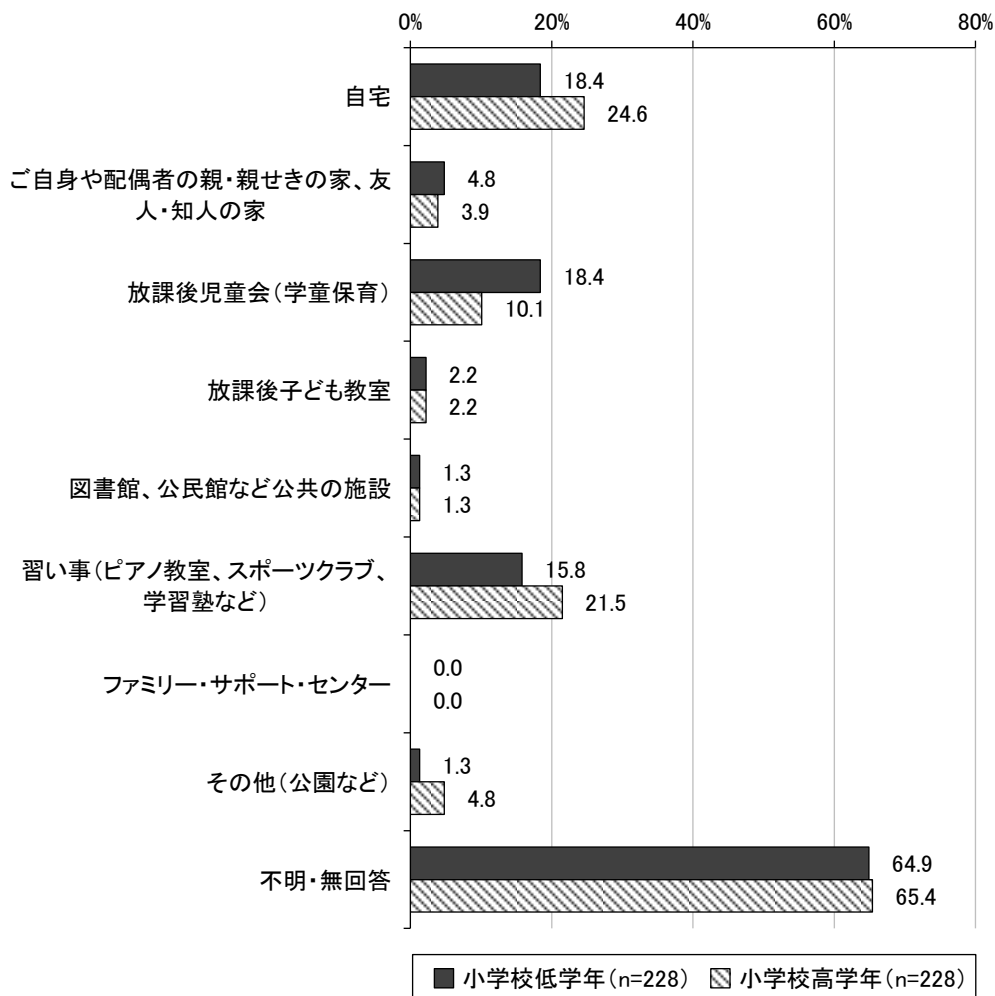
■育児休業を取ったあと、職場に復帰したか<母親><父親>〔就学前：問17-1〕



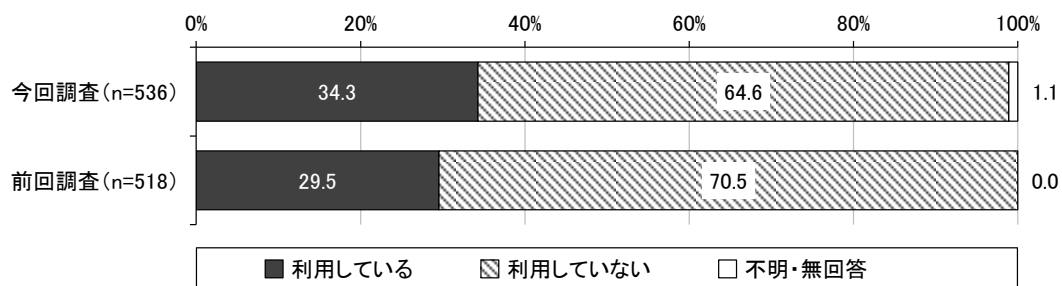
8 小学校就学後の放課後の過ごし方について

- 放課後に過ごさせたい場所について、低学年（1～3年生）のうちは、「自宅」と「放課後児童会（学童保育）」がともに2割弱、高学年（4～6年生）では「自宅」が2割台半ばで最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」となっています。ただし、全体の3分の2は「不明・無回答」であり、就学前児童保護者にとっては、小学校就学後の放課後の過ごし方のイメージを持ちにくいことがうかがえます。
- 放課後児童会（学童保育）について「利用している」は3割台半ばで前回調査から4.8ポイント増えています。
- 放課後児童会（学童保育）の土曜日の利用希望について、「月に1～2回は利用したい」が1割台半ば、「ほぼ毎週利用したい」が1割となっています。日曜日・祝日の利用希望は「月に1～2回は利用したい」が約1割となっています。
- 「放課後児童会（学童保育）を利用したい」と回答した人のうち、何年生まで利用したいかについては、「小学6年生」が6割台半ばと最も高く、前回調査から12.6ポイント増えています。

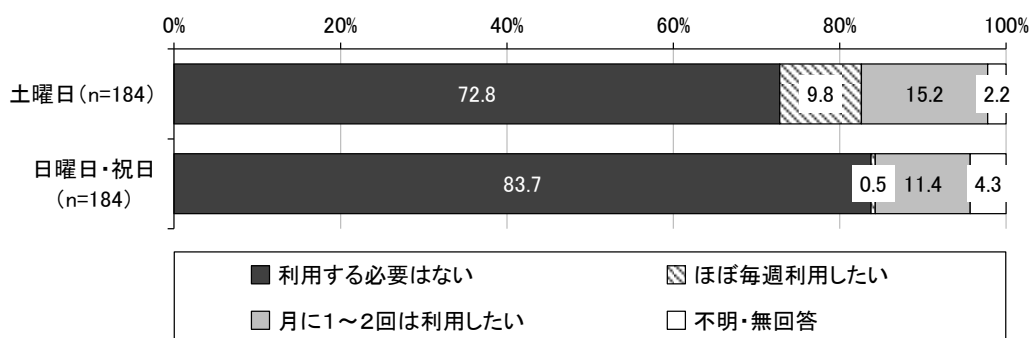
■放課後に過ごさせたい場所〔就学前：問21、問22〕



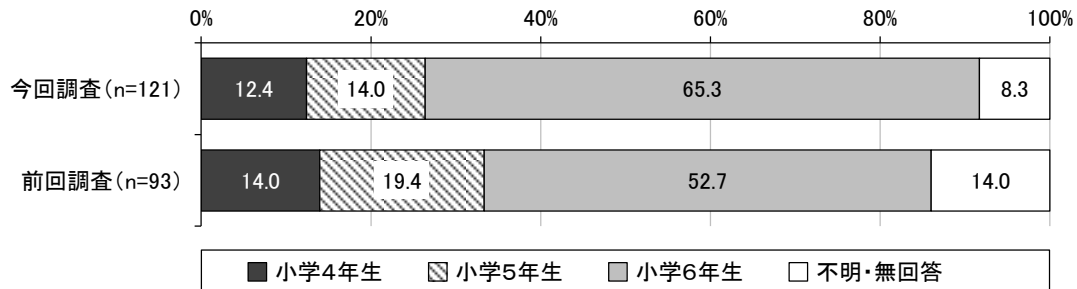
■放課後児童会（学童保育）の利用状況〔小学生：問 11〕



■放課後児童会（学童保育）の土曜日、日曜日・祝日の利用希望〔小学生：問 12-2〕



■放課後児童会（学童保育）を利用したい学年〔小学生：問 12-6〕

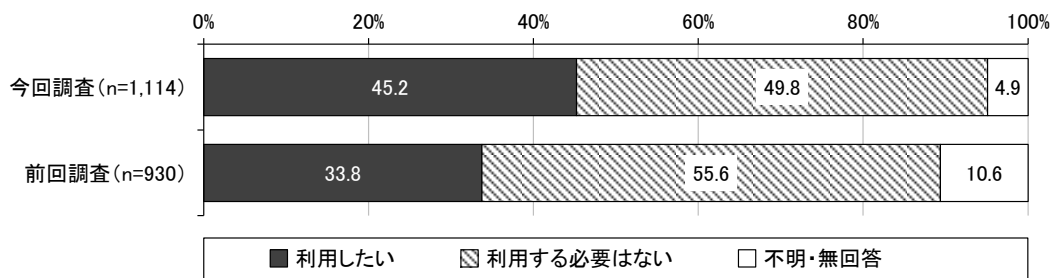


9 一時預かりなどの利用について

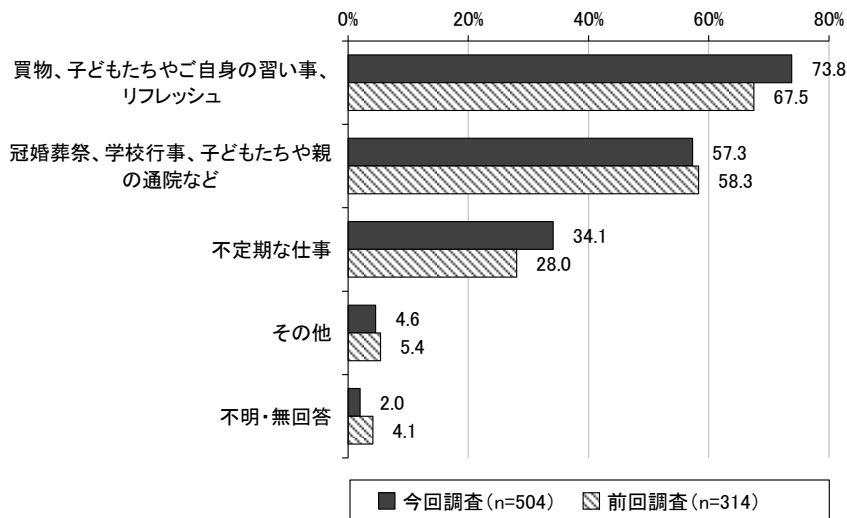
○保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいかについては、「利用したい」が4割台半ばで、前回調査から11.4ポイント増えています。

○「一時預かり」を利用したい目的は「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が7割台で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が6割近くになっています。

■保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいか〔就学前：問26〕



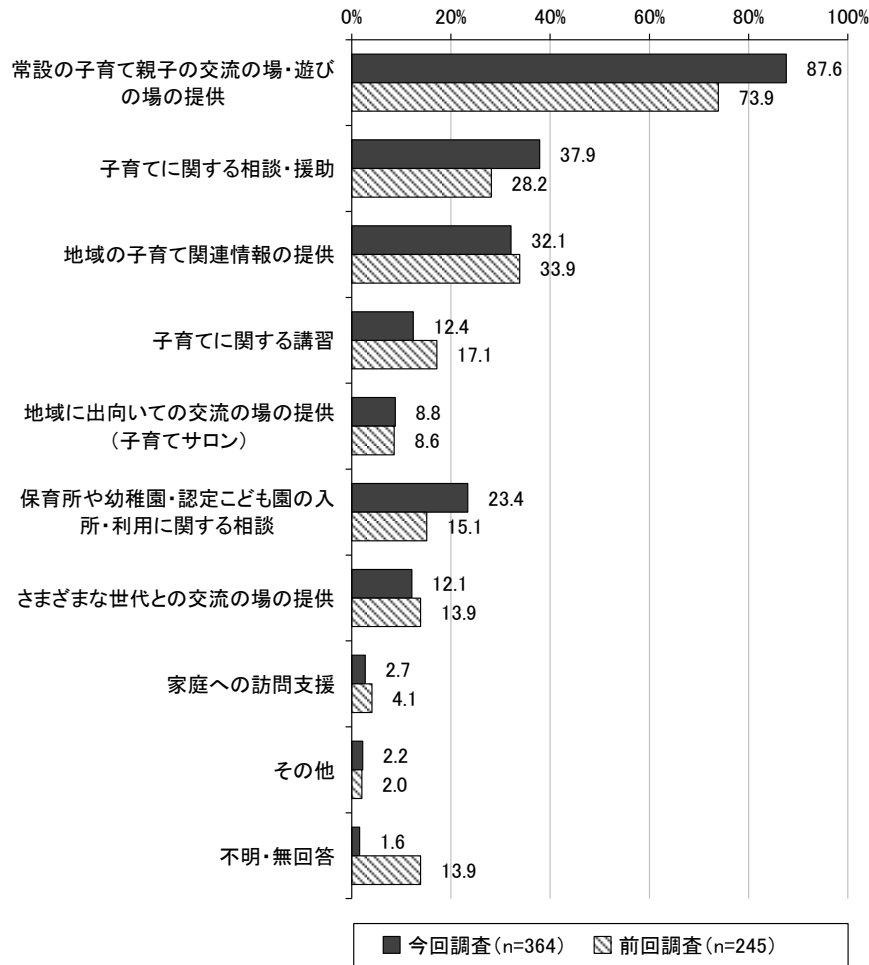
■「一時預かり」を利用したい目的〔就学前：問26〕



10 地域の子育て支援事業の利用状況について

○就学前児童保護者に尋ねた地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、利用したいサービスについては「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が9割近くで最も高く、前回調査から13.7ポイント増えています。次いで「子育てに関する相談・援助」「地域の子育て関連情報の提供」が3割台となっています。

■地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、利用したいサービス〔就学前：問29-1〕



11 市役所などへの要望について

○就学前児童保護者も小学生保護者も「子育て世帯への経済的援助を拡充する（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」が最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」が高くなっています。そのほか「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」「オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道等の段差解消等の『子育てのバリアフリー化』に取り組む」などが上位となっています。

■市役所などに対して、どのような支援サービスを充実させて欲しいか
〔就学前：問31〕〔小学生：問21〕

